

ような感覚がありました。そして今、この経験を積んでいる皆さんの将来について、頼もしくも感じています。今後の皆様の活躍をお祈り致しております。有難う御座いました。

第2分科会

第4回商学部グループ研究発表会 審査講評

株式会社住販 二階堂 正憲

1. 総合評価

初めて九州産業大学商学部の学生研究発表会に審査委員として参加させていただきましたが、実に「素晴らしい」発表会でした。発表を担当する学生諸君は、遊び心を失わず難しい壮大なテーマに取り組んだのはいいが、途中でテーマそのものが大きすぎて、自分らの手に負えなくなった様子が随所に見て取れました。また取り纏めた報告が、議論が足りずに中途半端で結論が何処にあるか分からなくなったチームもありました。発表会そのものは発表者の熱意が僅か20分では聴衆者には伝わらなくて、全体的な盛り上がりには欠けていました。プレゼンのスキルはまだまだ稚拙でした。しかし今は、それでいいのです。大切なのは、参加した学生諸君の未知なものに対する飽くなき探究心、燃えるような真摯なやる気！未経験であるが故の奇想天外な発想！無謀で無垢な若さが唯一の武器ともいえる学生諸君の勇気！です。それこそがこの発表会の求めるものだと確信します。だからこそ、その研究というフィールドには大いなる可能性が秘められているように思うのです。心配しなくてもパワーポイントを駆使するテクニックやプレゼンテーションのスキルは、その気さえあれば幾らでも学んで身に付けることが出来るものです。

本当に「素晴らしい」経験を準備していただいた九州産業大学商学部の関係者の方々に心から敬意を表します。

2. 各グループに対するコメント

① 中小製造業のマーケティング戦略のあり方

テーマ選定は商学部の学生らしくてとてもいい！さらにマーケティング戦略の定義・意義を明らかにする。論理的に展開されており最高！ですが実はこの辺で、メンバーの誰かは「ちょっと待って、戦略の定義はこれだけ？」と思ったはずです。起承転結のシナリオに囚われすぎて、途中の疑問に立ち止まり全員で喧々諤々議論したようには思えないのは、私だけですか？若者の特権は、固定概念を持たないことです。「え～何で??」と思って「こんなのもあるじゃん！」と提唱する力です。もっともっとフォーカスしてニッチな市

場の中にコアなポテンシャルが潜んでいることを発見して欲しかった。理論も大切ですが、「あっ！」と思う感性はもっと大切です。感性を磨きましょう。

② 携帯電話事業の買収戦略について

—ソフトバンクのボーダフォン買収—

この手の発表会にはもってこいの時機を捉えたテーマ設定。発表内容も簡単明瞭です。そのお陰で会場に聴衆がどっと増えました。パワーポイントの作り方、使い方は上手でした。とても分かりやすかった。でもそれだけですか？調査、研究も丁寧に行われているのですが、踏み込みが足りない。例えば孫さんにインタビューを申し込むとか、そんな話はいままでしたか？孫さんは高校生のときに藤田田さん（日本マクドナルドの創始者）に会いたいと電話をして会ってしまったそうですが・・・せつかくの研究発表会です。面白半分では勿体ない。わくわくドキドキ、面白全部でやるのがとても大切です。

③ 赤字一直線のオリンピック

取り組んだテーマが大きすぎたのか、焦点がボケてしまいました。皆さんがテーマ選定や調査検討を始めたちょうどそのころ平成18年の7月、チェコのプラハでIOCの総会が開かれ、「適正な五輪」へ向けた100項目の提言がなされました。この提言の意味するものを真摯に捉えオリンピックとは何ぞや。という前提を議論して欲しかった。「費用が回収不可能なので、発展途上国で開催すべき」という結論は短絡的過ぎませんか？

とても面白いテーマでオリンピック憲章に謳われる理念と商業主義とのギャップなど、その歴史は調べれば調べるほど興味をそそられます。「一時的な施設で十分なのに本格的でより大きな施設建設を進め、経費がかかっているとしたらとても不幸だ。将来の五輪が小額の開催予算しか持たない国から遠ざけられることはとても残念なことである」とは、はるか昔1911年のクーベルタン男爵の言葉です。研究発表に参画したメンバーの中の誰か研究してみてください。研究論文が書けますよ。

④ 利益を生み出す方法

—香椎祭に出店して—

これまた、管理会計は本当に役立つのか？というテーマと実践を香椎祭にてやるという発想は、商学部の子生らしくて本当に素晴らしい！計画の設定から結論の導き出しも、いま時の若者が最も不得意とする論理性をきちんと身に付けており、ゼミの教授の指導が伺えるいい発表でした。ただ残念なのは、「管理会計の技法は勉強になったが、役に立たなかった。」と決め付けてしまったことです。役に立たなかったのではなく、管理会計の技法を使いこなせなかったのです。科学の進歩は、間違いの連続、失敗の連続、すなわち膨

大な試行錯誤の賜物なのです。失敗で積み上げた情報の新しい組み合わせによって新しい価値を生み出すことこそ成功への道程です。同じメンバーは、今年の香椎祭に再チャレンジするそうです。成功するまで諦めないこと！これが成功の秘訣ですね。楽しみです。

⑤ 新会計基準の導入に見る会計情報の与える影響

会計基準の大切さについて論述し、新会計基準の導入に対する考察を、なぜ取り上げたかが明確になっているため、専門性に富んだ発表に係わらず分かり易くよく勉強しています。年金制度への移行の理由と会計基準との関係がやや短絡的（企業業績への影響だけか）であった以外は高い評価を受けたことも領けます。参考文献による断定的な見方だけではなく、複眼的あるいは批判的な見方と分析を加えるともっと素晴らしいものになると思います。意見の違いは当たり前！違わないほうが怖いですよ。『なぜ？それってホント？』を基本に疑問をいっぱい持って、うんと議論をしましょう。

⑥ auの快進撃

～圧倒的なリーダーに対抗するチャレンジャーの有効な競争戦略とは？～

シンプルなテーマ選定が非常に分かり易く、さらに具体的なサービス事例で説明が簡単明瞭でした。携帯端末の商品差別化、料金の差別化（学割）、コンテンツ（音楽配信）など違いと戦術を分かり易く説明しています。最後に、ではなぜドコモは、ターゲットを明確にしないのか？に対し、「あの会社では真似するのが困難」と一刀両断に切り捨てるどころなんか、学生らしい明快さですね！携帯事業だけに止まらず、チャレンジャー企業の有効な戦略へ展開したところも心憎いですね。マーケティング手法も取り入れ成功へのキーワードも示されており、研究発表会のモデルケースのような纏め方です。その分、まとまりすぎて破天荒な魅力に欠けるようですが、そこまで要求するのはちょっと贅沢かな？

第3分科会

第4回商学部グループ研究発表会 審査講評

前ホテルオークラ福岡社長 金子 順一

1. 分科会全体の評価

全般的にみて、パワーポイントの出来栄え、使い方が素晴らしく聴講者の理解を容易にした。それに比べて、内容の掘り下げ方が浅かったり、また、質問に答えられず、発表のためだけの勉強に終わった印象を受けたグループもあったのが残念である。もう一つ気になったのは、殆どのグループの発表の仕方が原稿の棒読みのケースが多く、これでは聴衆に対する説得力が欠けてしまう。